

# 鹿児島県感染症情報

## 2010年 第44週報 (11月1日~11月7日)

発行：鹿児島県環境保健センター

《感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryo/kansen/index.html>》

県内における流行性耳下腺炎は、例年より多い報告数で推移しています。今週の報告数も前週を上回り、定点当たり報告数でも 2.00 を超えた状況が続いています。今のところ、2006 年と比較すると流行の程度は小さいものの、今後の動向には十分な注意が必要です。

### ★ 鹿児島県における流行性耳下腺炎の発生動向と予防対策

県内における今年の流行性耳下腺炎の発生状況は、例年と比較して全体的に多い報告数で推移しています。今のところ大きな流行には至っていませんが、今後の動向には十分な注意が必要です。

今週の県内における報告数は、前週より 3 人多い 119 人（定点当たり報告数 2.16）に増加しており、第 38 週以降は、定点当たり報告数でも 1.00 を超えた状況が続いています。保健所別では、鹿児島市保健所からの報告数が特に多くなっており、5 週連続で流行発生注意報の基準値（定点当たり報告数 3.00）以上の報告数となっています。また、今週は大口保健所、伊集院保健所も流行発生注意報の基準値を上回っています（p2~p3 を参照）。

全国及び県内のインフルエンザ報告数に急激な増加は認められていないものの、都道府県別では、北海道と沖縄県が第 43 週で流行開始基準の指標である定点当たり報告数 1.00 を超えてきました。今後の動向には十分注意が必要です。

### ★ 全国・鹿児島県におけるインフルエンザの発生動向

都道府県別における前週（第 43 週）のインフルエンザの発生状況は、北海道（定点当たり報告数 1.06）、沖縄県（定点当たり報告数 1.02）の順に多く、いずれも流行開始の指標とされる定点当たり報告数 1.00 を超えています。特に、北海道を保健所別にみると、流行発生注意報の基準値（定点当たり報告数 10.00）を上回っている保健所も存在しました。また、秋田県の病院においては、インフルエンザの集団感染事例（入院患者 1 人から AH3（香港型）を確認）があり、入院患者 6 人が死亡しています。

一方、県内の発生状況は、第 43 週に 13 人（定点当たり報告数 0.14）の報告がありましたが、今週は 8 人（定点当たり報告数 0.09）に減少しています。しかしながら、全国の発生状況等を踏まえると、今後は増加していくことが予想されるため、今後の動向には十分な注意が必要です。なお、全国の病原体情報によると、今シーズンのインフルエンザウイルスは、今のところ AH3（香港型）の検出率が AH1pdm（新型）を上回って検出されています。

### ☆一～五類感染症(全数報告疾病)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核 5 例（肺結核 4 例，無症状病原体保有者 1 例），（追加）第 43 週：結核 1 例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 例，血清型/毒素型：O111/VT1&2
四類感染症	発生報告なし
五類感染症	発生報告なし

### ☆定点報告疾病の発生状況

・第 44 週の定点把握対象疾病の総報告数は 528 人で、第 43 週より 47 人少なかった。また、定点当たりの報告数は、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、水痘の順に多かった（詳細については後述）。

・ **流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所

【伝染性紅斑（開始 2.0，終息 1.0）】：鹿児島市（1.92）

・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所

【流行性耳下腺炎（基準値 3.0）】：鹿児島市（5.38），大口（4.00），伊集院（3.00）

【水痘（基準値 4.0）】：川薩（4.75）

※（数値）は定点当たり報告数  
※ アンダーラインは今週から基準値以上の保健所

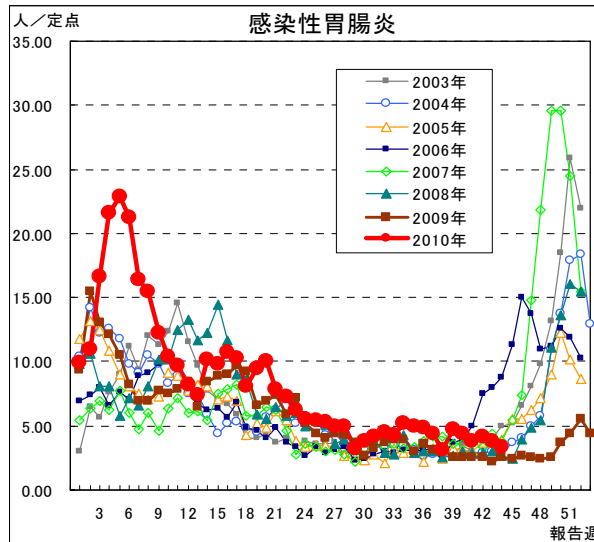
☆定点報告疾病（定点当たり報告数の上位3疾病の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第44週の感染性胃腸炎の報告数は186人で、前週より22人少なく、定点当たりの報告数は3.38であった。現在増減幅の少ない状況で推移しているものの、例年冬季に向けて、急激な増加が認められていることから注意が必要です。

年齢別では、3歳と4歳（それぞれ21人）、2歳と10～14歳（それぞれ20人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、始良保健所（6.43）、鹿屋保健所（6.00）、志布志保健所（4.67）が多い。

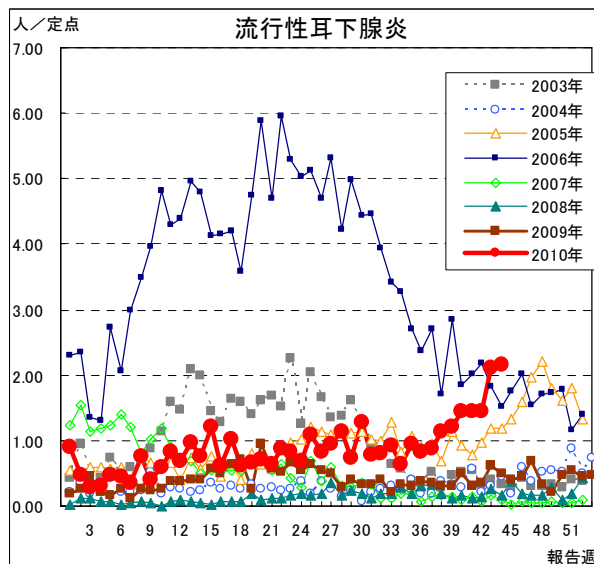


(2) 流行性耳下腺炎

第44週の流行性耳下腺炎の報告数は119人で、前週より3人多く、定点当たりの報告数は2.16であった。増加傾向が続き、定点当たり報告数でも2.00を超えているため、今後の動向には注意が必要である。

年齢別では、4歳（25人）、2歳と3歳（それぞれ19人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（5.38）、大口保健所（4.00）、伊集院保健所（3.00）が多い。鹿児島市保健所は5週連続で、今週から大口保健所と伊集院保健所が流行発生注意報の基準値以上である。

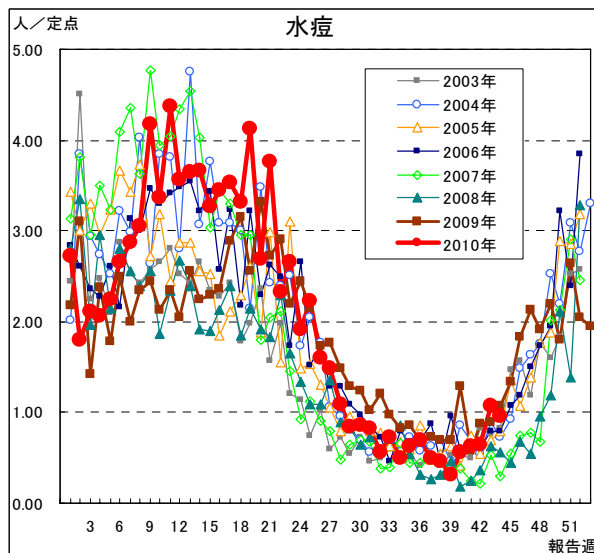


(3) 水痘

第44週の水痘の報告数は53人で、前週より6人少なく、定点当たりの報告数は0.96であった。今週は前週より若干数の減少がみられたが、例年は年末に向かって増加傾向が認められることから、今後の動向には十分な注意が必要である。

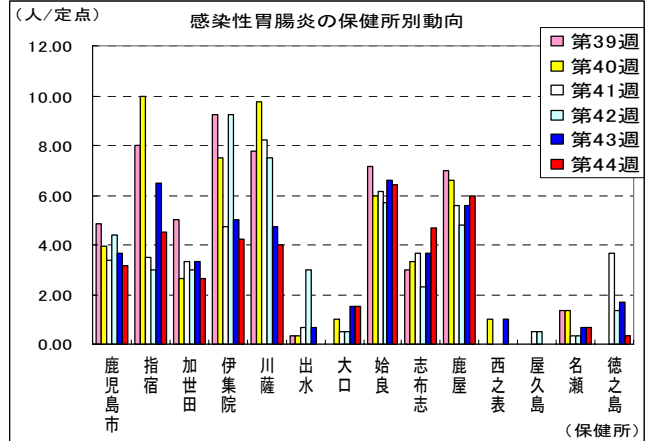
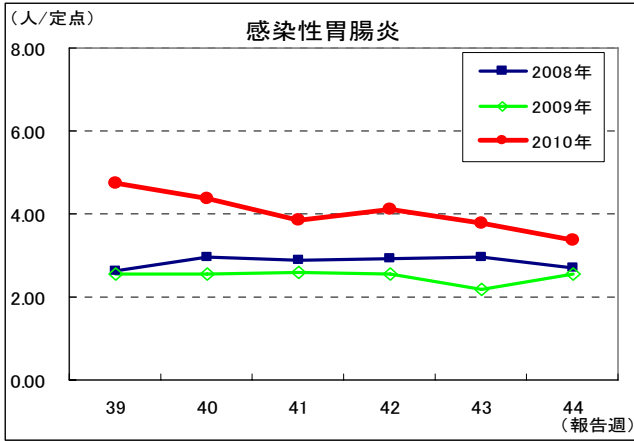
年齢別では、2歳（12人）、3歳と4歳（それぞれ9人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（4.75）、西之表保健所（2.00）、加世田保健所（1.33）が多い。川薩保健所は、今週から流行発生注意報の基準値以上である。

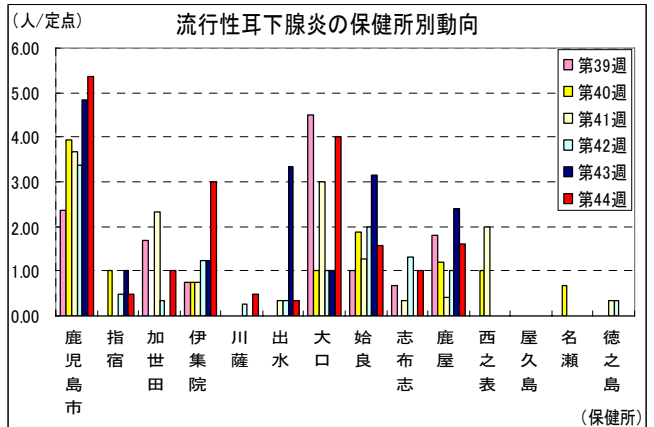
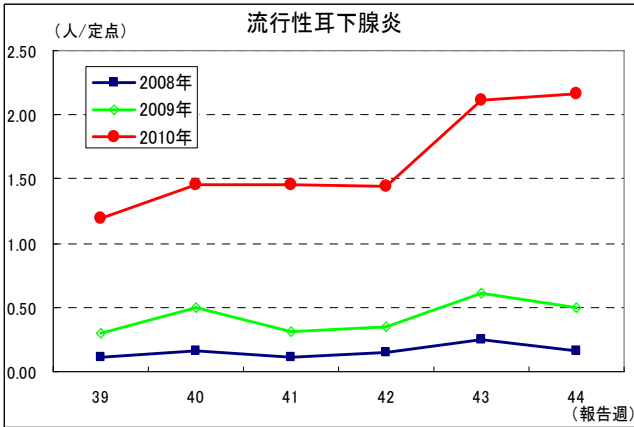


☆上位3疾病の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

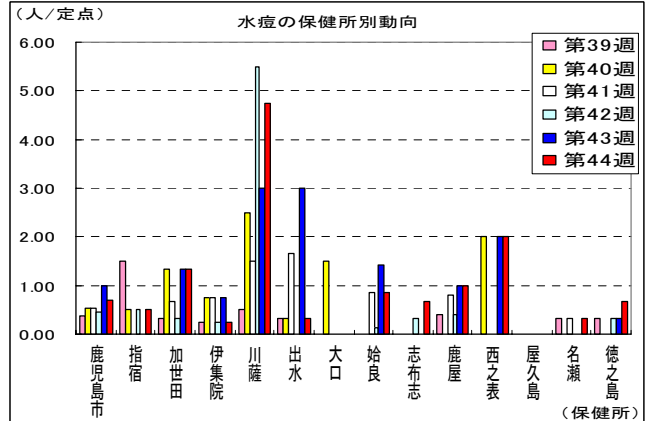
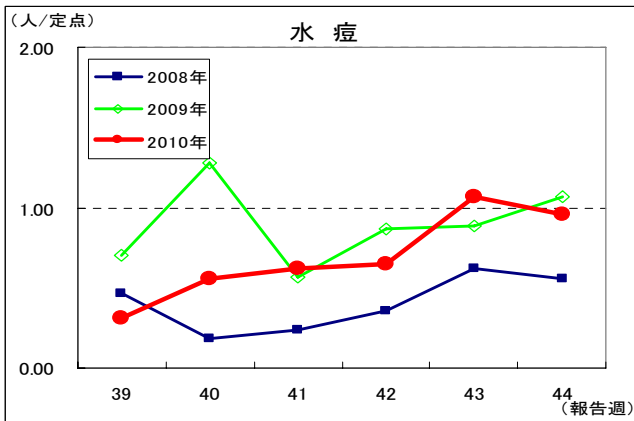
(1) 感染性胃腸炎 (流行発生警報は開始基準値 20.0 以上)



(2) 流行性耳下腺炎 (流行発生警報は開始基準値 6.0 以上)

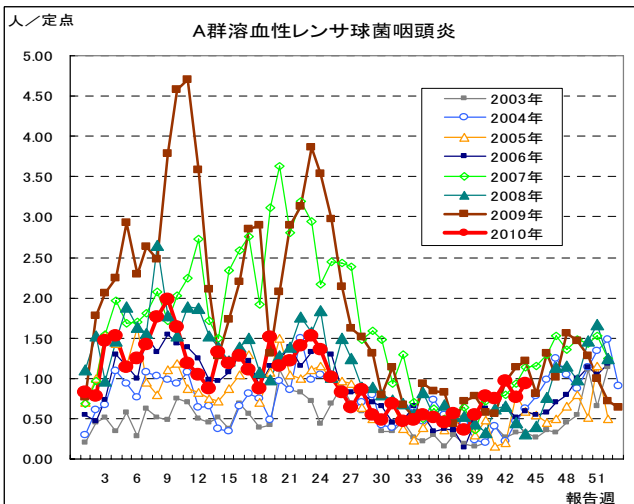


(3) 水痘 (流行発生警報は開始基準値 7.0 以上)

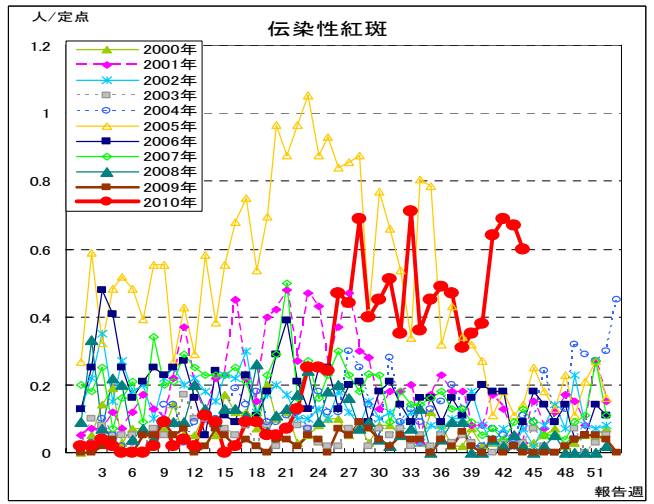


☆注目される感染症の発生状況

★A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況 (鹿児島県)



★伝染性紅斑の発生状況 (鹿児島県)



☆定点報告疾病の発生状況

2010年	(報告週)	第44週
-------	-------	------

定点種別	定点報告疾病	報告数	定点当り	累積報告数 (2010年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	8	0.09	6,218
小児科定点	RSウイルス感染症	32	0.58	1,771
	○ 咽頭結膜熱	13	0.24	876
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51	0.93	2,417
	感染性胃腸炎	186	3.38	20,134
	水痘	53	0.96	4,975
	○ 手足口病	3	0.05	2,735
	伝染性紅斑	33	0.60	614
	突発性発しん	29	0.53	1,323
	百日咳	-	0.00	37
	ヘルパンギーナ	1	0.02	2,056
	○ 流行性耳下腺炎	119	2.16	2,144
	眼科定点	急性出血性結膜炎	-	0.00
流行性角結膜炎		-	0.00	325
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	0.00	4
	無菌性髄膜炎	-	0.00	6
	マイコプラズマ肺炎	-	0.00	54
	クラミジア肺炎	-	0.00	2
報告数合計		528		45,693

○印は前週比増

☆5週間前からの疾病別報告数・定点当たり報告数

	5週前 (2010年39週)	4週前 (2010年40週)	3週前 (2010年41週)	2週前 (2010年42週)	1週前 (2010年43週)	今週 (2010年44週)
インフルエンザ	5 0.05	8 0.09	4 0.04	5 0.05	13 0.14	8 0.09
RSウイルス感染症	96 1.75	94 1.71	73 1.33	67 1.22	48 0.87	32 0.58
咽頭結膜熱	9 0.16	14 0.25	10 0.18	20 0.36	10 0.18	13 0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30 0.55	43 0.78	41 0.75	53 0.96	42 0.76	51 0.93
感染性胃腸炎	261 4.75	241 4.38	211 3.84	226 4.11	208 3.78	186 3.38
水痘	17 0.31	31 0.56	34 0.62	36 0.65	59 1.07	53 0.96
手足口病	2 0.04	5 0.09	-	-	1 0.02	3 0.05
伝染性紅斑	19 0.35	21 0.38	35 0.64	38 0.69	37 0.67	33 0.60
突発性発しん	32 0.58	40 0.73	32 0.58	20 0.36	31 0.56	29 0.53
百日咳	2 0.04	1 0.02	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	11 0.20	2 0.04	6 0.11	6 0.11	8 0.15	1 0.02
流行性耳下腺炎	66 1.20	80 1.45	80 1.45	79 1.44	116 2.11	119 2.16
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2 0.29	2 0.29	2 0.29	3 0.43	1 0.14	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1 0.08	3 0.25	-	2 0.17	1 0.08	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2010年44週(平成22年11月1日～平成22年11月7日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	8	0.09	32	0.58	13	0.24	51	0.93	186	3.38	53	0.96	3	0.05	33	0.60	29	0.53
鹿児島市	2	0.09	11	0.85	3	0.23	21	1.62	41	3.15	9	0.69	1	0.08	25	1.92	16	1.23
指宿	-	-	2	1.00	-	-	3	1.50	9	4.50	1	0.50	-	-	-	-	-	-
加世田	3	0.50	-	-	1	0.33	1	0.33	8	2.67	4	1.33	-	-	1	0.33	-	-
伊集院	1	0.17	3	0.75	2	0.50	1	0.25	17	4.25	1	0.25	-	-	4	1.00	1	0.25
川薩	-	-	3	0.75	-	-	18	4.50	16	4.00	19	4.75	-	-	-	-	6	1.50
出水	-	-	8	2.67	5	1.67	2	0.67	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	1	0.50	3	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	3	0.43	1	0.14	1	0.14	45	6.43	6	0.86	1	0.14	3	0.43	2	0.29
志布志	1	0.20	-	-	-	-	-	-	14	4.67	2	0.67	-	-	-	-	1	0.33
鹿屋	1	0.13	-	-	1	0.20	1	0.20	30	6.00	5	1.00	-	-	-	-	2	0.40
西之表	-	-	2	2.00	-	-	1	1.00	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	1	0.33	2	0.67	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	0	0.00	1	0.02	119	2.16	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	-	-	-	-	70	5.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	-	-	1	0.50	1	0.50	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	3	1.00	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	12	3.00	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	1	0.33	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	8	4.00	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	11	1.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	3	1.00	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	8	1.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
名瀬	-	-	-	-	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

年齢階級別疾病別患者報告数及び定点当たり報告数（男女合計）

2010年44週(11月01日～11月07日)

(インフルエンザ定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ 報告数	8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	3	-
インフルエンザ 定点当り	0.09	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	0.03	-	-	-	0.03	-
(小児科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～						
RSウイルス感染症 報告数	32	3	8	15	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症 定点当り	0.58	0.05	0.15	0.27	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 報告数	13	-	1	9	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 定点当り	0.24	-	0.02	0.16	0.04	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 報告数	51	-	-	4	1	4	11	4	2	6	2	7	7	1	2	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当り	0.93	-	-	0.07	0.02	0.07	0.20	0.07	0.04	0.11	0.04	0.13	0.13	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 報告数	186	1	5	19	20	21	21	14	18	9	8	6	20	5	19	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 定点当り	3.38	0.02	0.09	0.35	0.36	0.38	0.38	0.25	0.33	0.16	0.15	0.11	0.36	0.09	0.35	-	-	-	-	-	-
水痘 報告数	53	-	8	6	12	9	9	5	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
水痘 定点当り	0.96	-	0.15	0.11	0.22	0.16	0.16	0.09	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病 報告数	3	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病 定点当り	0.05	-	0.02	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 報告数	33	-	-	-	2	6	7	7	3	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 定点当り	0.60	-	-	-	0.04	0.11	0.13	0.13	0.05	0.07	0.04	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 報告数	29	1	16	10	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん 定点当り	0.53	0.02	0.29	0.18	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 報告数	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ 定点当り	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 報告数	119	-	-	5	19	19	25	16	10	9	3	6	5	1	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 定点当り	2.16	-	-	0.09	0.35	0.35	0.45	0.29	0.18	0.16	0.05	0.11	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
(眼科定点報告疾病)	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳～	
急性出血性結膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(基幹定点報告疾病)	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く) 定点当り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-